

特別展「ワイン展」における “日本におけるワインの歴史”

1. 南蛮によるワインとの出会い

大航海時代のポルトガルによって、戦国時代の日本へキリスト教と共にワインはもたらされた。そこで関係する資料によって、日本とワインとの出会いを紹介する。

- ・南蛮が日本へもたらしたキリスト教に関連する資料
- ・ガラス器などのワインに関係する資料

2. 江戸時代のワイン事情

ワイン関連の輸出陶器や、海外の窓口であった長崎や幕府の中心である江戸、開港した横浜でのワイン消費の様子を紹介する。

- ・海外へ輸出されたワイン関係の陶磁器
- ・ワイングラスやワインボトル、西洋食器など当時の生活がみえる資料
- ・日本で葡萄について記述した資料

3. 殖産興業とワイン

明治になると、殖産興業においてワインは中心の一つとして国策により奨励された。その経緯や実情を紹介する。

- ・明治政府における勸業政策の関係資料
- ・農商務省、開拓使における葡萄酒生産に関する資料
- ・山梨県勸業場における葡萄酒生産の関係資料

4. ワイン普及の基礎

民間による葡萄酒生産の活動や、甘味葡萄酒を中心とする日本でのワインの普及について、紹介を行う。

- ・山梨における葡萄酒生産に関する資料
- ・岩の原や牛久など、民間における葡萄酒の普及活動に関する資料
- ・各種ワインの紹介した宣伝資料

5. ワインと太平洋戦争

「ワインは兵器だ！」をスローガンに、ワインが軍事物資であった歴史を紹介する。

- ・生産されたロッシェル塩
- ・葡萄やワインからのロッシェル塩生産を紹介する資料

6. 戦後のワイン展開

戦後も甘味葡萄酒が消費の中心であり続けたのち、近年になって本格ワインが一般に普及する様になった。その変化について紹介する。

- ・当時のポスター資料
- ・ワインボトルなどの関連資料